

令和元年度 第2回「三条市勤労青少年ホーム運営審議会」会議録

令和2年3月23日調製

1 日 時	令和2年2月26日（水） 午後3時開会
2 場 所	三条市勤労青少年ホーム 音楽室兼集会室
3 出席委員	小林会長、中嶋、相田、泉、山田、川上の各委員
4 欠席委員	広野、熊谷、山澤、高波、清水の各委員
5 説明のため の出席者	佐藤館長、佐藤事務長、諸橋主任
6 所 管 課	片野商工課長、五十嵐商工課主任
7 傍 聴 者	なし
8 報道機関	なし
9 議事内容	(1) 令和元年度活動状況報告について (2) 令和2年度活動方針案及び事業計画案について (3) その他
10 会議の経過及びその結果	
小林会長	<p>こんにちは。大変お忙しい中、また、コロナウイルスのこの時期にお集まりいただきましてありがとうございます。きょうは第2回の運営審議会ということでこれより開会しますが、きょうは参加者も少ないのでコンパクトにまとめてテンポよく早めに終わらせたいと思います。</p> <p>はじめに僕から先ほど商工課長の話（広報さんじょうソレイユ特集記事）を伺っていて、実際にレスポンスがあったかどうか知りたい。</p>
佐藤事務長	<p>3月なのにここにきて講座に入りたいという問い合わせが5、6件続きました。わざわざ年度末に入りたいということは、特集記事を見ていた方ではないかと推測しています。</p>
佐藤館長	<p>見開きならベストですが、このタイミングで特集が入るということは大きいです。</p>
小林会長	<p>それでは、はじめに佐藤館長よりごあいさつをお願いします。</p>
佐藤館長	<p>きょうはお忙しい中ありがとうございます。第1回目が去年の10月だったので、それほど間隔は開いていないですが、皆様方の忌憚のないご意見を拝聴し、今後の運営に反映していきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。</p>
小林会長	<p>それでは議事に入っていきたいと思っておりますが、議題（1）（2）とありまして、まず（1）の実施報告を事務局から説明を受けたのち皆さんからご質問ご意見をいただき、その後に（2）の活動方針の説明をしてもらうことにします。</p>

佐藤事務長	2 ページから 7 ページまでの 1 月末現在の実施状況報告を説明。
小林会長	はい、ありがとうございます。これから質問・意見を伺っていきませんが、アンケートも含めてということをお願いします。 中嶋委員から順番にいきますが、考えているまでの間、最初に僕のほうから質問させてください。 ソレイユ祭で 1,050 人とは昨年より 200 人単位で多くなっているということですが、勝因は。
佐藤事務長	はい。今回はステージ部門で幼児から大人までそれぞれの段階、幼児の踊り、小学生、中学生の吹奏楽、高校のダンス部、広い世代の一躍（ひとおどり）という団体の発表もあり、その親御さんや身内の方が多く集まってきたのではないかと考えています。
小林会長	素晴らしいです。そこで、全体を通してですが、私たちは昨年より良くしていこうと思いつつ意見を出しているわけで、今年の数字に昨年の比較数字を括弧書きでも記載してあると意見を出しやすい。
佐藤事務長	17 ページから 1 月末の比較を載せてございますので、そちらを参照していただくと一目瞭然です。例えば、③の登録者の活動状況ですが、30 年度が 9,338 人で今年度は 10,064 人となって約 700 人増えています。次のページの講座の受講延べ人数も 30 年度が 3,571 人で、今年度が 4,230 人でやはり 700 人近く増えていることが分かります。
小林会長	これが参考資料となる意味というものはありますか。むしろこちらのほうがメインの説明で、これ一本でやれたらいいのではないかと思います。
佐藤事務長	そうですね。数字など比較できるものは資料にしてございますが、比較できないものもあります。例えば、広報の手法だったり内容だったりします。また、自主事業については毎年変わっております。
小林会長	大概この手の資料は読み込んできていないのが現状だと思います。説明を聞きながら考えるケースが多いと思いますので、ぜひデータの見せ方もご検討ください。
中嶋委員	感想と質問です。講座を何で知ったかというアンケートがありまして、1 番が広報さんじょうで、2 番目に多いのが友人知人となっております。長岡の労働相談所でも何で知りましたかというアンケートを取ったところ、一番多いのがインターネットで、困っている人が探すというところですが、勤労青少年ホームは困っている人ではないので、広報紙や友人知人の紹介が多くなるのだろうという感想です。 それと全体に取り組みがうまくいっている印象があります。たまたま県で人口減少に対する取り組みなどを知る機会があり、新潟県は、

	<p>どちらかというとは北陸的ではなく、宮城県を除く東北寄りの厳しい状態で人口減少が続いています。こちらで事業を行う上で若い人が集まらないとか人が減っているなどという実態があるのかどうか、もしあるとすればその対策をどのように講じられているのかお聞きしたい。</p>
佐藤事務長	<p>データとしてはなく、私の感覚的なものになりますが、確かに友人知人の紹介というところで40歳未満にひっくるめると多くなっていますが、新規登録者は20代のごく若い人は少なく、30代もしくは40歳前後という方が多いように感じています。</p>
小林会長	<p>人口減少自体は、ペースはゆっくりですからね。</p>
泉委員	<p>自主事業で新しい取り組みがいろいろあってすごいなあと感じています。先ほどの比較表で700人ほど増えているということですが、質問が重複するようで恐縮ですが、この700人の内訳は先ほどの答弁にもありましたように30代、40代の方が多いということですが、年代別に詳しくわかるのであればお聞きしたい。</p>
佐藤事務長	<p>参考資料17ページの登録者数の比較を見ていただくとお分かりだと思いますが、20歳未満が14人増、25歳未満が18人、30歳未満が14人、35歳未満が19人それぞれ増えていて、35歳以上になりますと150人ほど増えていることが数字でわかります。</p>
山田委員	<p>講座の参加人数など大変努力されていていいと思いますが、1点気になるのが7ページの利用者ニーズの把握のところアンケート調査の回収率が79.2%で低調かなと。私はアンケート調査をみるときいつも回収率をみますが、令和元年度は30.6%ということで、30%台だとなかなか正確な数字が把握できないという点を感じられるということと、受講の有無では「いいえ」が79.3%ということで周知されていないことが残念に思います。また、Q5のところ周知は一生懸命やられていると思いますが、講座を知らなかったという方が約4割いるということで広報やSNSを使って周知をされていますが、若い方への周知が足りないのではないかと感じます。さらに30ページのクロス集計表の中を見ますと講座を知らなかったという回答のうち20代、30代が8割ほどあるのでこの点が課題かなと思っています。</p>
小林会長	<p>悩ましいところですね。</p>
佐藤事務長	<p>回収率が低い点ですが、福祉推進者連絡協議会に加盟している企業からの回答が昨年に比べ随分減っております。理由として考えられるのは、企業の中でも若い人が少なくなってきた、また、新卒も少ないのではないかと思います。そうすると担当の方は若い人に頼むわけですが、人数が少ないのか単純に回答する方が減っているのか企業では</p>

	<p>ないのでわかりませんが、人数が少ないことも多少影響しているのかなと推測しています。また、若者に知られていないという点ですが、私も以前からずっと課題とっていて、考えられる手を打ってみたり皆さんの意見を参考にしたりして試行錯誤を行いながら、一方ではなるべく若い人の意見を聞く機会を持つようにしています。例えば、昨年からはじめたのですが青年委員会の中でこういった会議形式ではなく、意見が出やすいように小さな島を作り、グループディスカッションという形でやっておりますが、そこで若い人は何をやっているのか情報の取り方など意見を聞いてみたいと考えています。</p>
小林会長	<p>興味ない人たちにどうやって認知させるということですが、なかなか悩ましいところです。</p>
佐藤事務長	<p>例えば、一ノ木戸商店街にある「TREE」は若者が集まっている印象があります。魅力あるものがパツと思いつくようになれば行ってみようかという気持ちになるかもしれません。若い人は食べ物系などに興味を示すのかもしれない。</p>
小林会長	<p>建物自体のイメージが暗いですからね。かと言ってお金もかけられないしということですね。</p>
川上委員	<p>私も昨年の実績と比較すると数字がすべて上回っているもので、事務局の方が頑張っていらっしゃるのかなと思います。先ほど課長がお話しされた、昨年体育文化会館がオープンして順調のようですが、ここは講座・サークルが中心なのであまり影響はないのかなと思いますが、実際のところどう感じていらっしゃるでしょうか。それから例えば新型コロナウイルスが三条市ではまだ発症していませんが、感染している人が実際はいるのではないかとされていますが、もし出た場合、講座・サークルをどうするのかどのように対応されるのか今後検討の必要性が出てくるのではないかと思います。</p> <p>あと、広報特集記事ですが今回は年度末の2月に出版しましたが、今後は、令和2年度は年度初めに出版してもらえるのかも聞きしたいと思います。</p>
小林会長	<p>最初に広報からお願いします。</p>
片野商工課長	<p>冒頭申し上げた通りで、先ずはこれまでしばらくはこういう露出がなかった中で、できなかったことができたということで一定の成果があったと思っています。先ほど申し上げた通り、これで終わりではなく、時期をとらえてしつこくというか丁寧にやっていくべきだと思います。とはいえ広報紙は一方では年間計画というものがありますが、まさに現在年間のメニュー作りをしている段階ですので、隙間と</p>

	<p>いうとおかしいですが我々のほうでも広報担当に入り込めるタイミングがあれば話をしてみたいと思っております。先ほど佐藤事務長から言われたせっかく取材したのに日の目を見ないということがあっては取材された方にも申し訳ないですし、残念なのでこういった形のものゝ効果的なのか見極めたうえでやっていきたいと思ひます。もう2点ほど、体育文化会館の影響についてですが、細かい数字は後程事務局からお答えいただくとして、我々の受け止め方は、先ほど川上委員さんがおっしゃったとおりで、取った、取られたということはないと思ひています。最後にコロナの関係ですが、今のところ市長以下、市全体の中での認識ですが、市長のことばを借りて言ひますと、「正しく恐れる」です。ですから情報はしっかり入れながら正しい対応は何かという認識でおります。ただ、日々国からメッセージというか方針みたいなものが出てくるものゝから、情報を受けて適宜適切に判断をしていく中で、もしかすると先々個々の施設での判断ではなくて、市全体の統一的なガイドラインで対応していくことになるかと思ひます。</p>
川上委員	それは1週間とか2週間という単位でのものゝですか。
片野商工課長	<p>そうですね。国が昨日今日で出してくる情報が変わってきているので、市の行政課サイドで公共施設全体を指定管理者含めた市全体のガイドラインが必要かどうか日々協議をしている段階ですが、そうなればソレイユを含めてしっかりやっけていくことになると思ひますが、今のところは大きく制限をかけている状況ではないところゝです。</p>
佐藤事務長	<p>私のほうからは、体育文化会館の影響についてですが、資料の20ページで一般貸出状況を見ていただきますと、今年1月末現在で1,251件、18,452人で、前年同期から160件ほど減っております。ただ、体育協会加盟団体はほぼ前年同様なので影響による減はないと思ひております。この減った理由としては、常連だった団体が年度途中2つほど抜けており、その関係が大きいと思ひますが、その団体の追跡は特にしていないので、現在どこを使っているのか不明ですが、体育文化会館の影響はあまりないという感覚でおります。</p>
小林会長	<p>確か体文が工事に入ったタイミングで使用する団体が増えたのゝすよね。</p>
佐藤事務長	<p>はい、その時から増えています。そのいくつかの団体は今もここを使用してもらって定着しております。理由は特に聞いていないので個人的感覚になりますが、新しいところから比べると駐車場からすぐなので使い勝手がいいのではないかと私見ですが思ひています。</p>
小林会長	<p>コロナウイルス関係では市からの対応は何かありますか。</p>

佐藤事務長	その関係では市から指示事項などの連絡は来ておりません。
佐藤館長	基本的には今、市の課長がおっしゃられたような対応で、当然単独の指定管理者がどうのこうのということにはならないと思います。市全体の統一した行動になるわけです。それが利用者の方にもご理解いただけることになると思います。
相田委員	ソレイユの利用者代表として、先ほど出ましたソレイユ祭と広報についての感想を述べさせていただきます。私はネイティブ英会話を受講しております、当初は4ページとお聞きしております、インタビューされたけれども載れなかったということで残念でした。それでも何人かはこうして写真付きで載せていただいて講座の中では話題になって盛り上がっていました。お問い合わせも若干いただいたそうでありありがとうございます。できれば今度は募集の時期に載せていただければ受講者の人数も多くなるのかなと思います。ソレイユ祭についてですが、私は5年位前からソレイユを利用して、受講するきっかけがソレイユ祭に出演してからでした。当時は若者が多くて、けれども閑散としていました。それから徐々に対象の年齢枠を外したことによって、最近の英会話ではシニア層が多くて約3分の1に当たります。講座で会合をしたときにシニアの方から話があったのは、自分たちは若者と触れ合う機会がないからとても楽しいのでぜひ続けてくださいという感想もいただいています。また、今年のソレイユ祭にはシニアの方も引っ張って出してもらって一緒に歌って、司会のさとちんさんからインタビューしてもらい、家族からもすごいねと言われて満足している様子でした。それとソレイユ祭の出演ですが、以前は利用者限定のようでしたが、今年は幼児から周辺の学校からも出してもらって、その友人やご家族から大勢来てもらったことで、低年齢層からこういう施設があるということを感じ付けてもらうことによって、将来利用者も増えるのではないかなという印象を持ちました。これからも地域の皆さんが出演できるソレイユ祭になればいいかなと思います。
佐藤事務長	ちなみに表紙の左側の写真がネイティブ英会話の発表の写真です。一番左側に写っているのが相田委員です。
相田委員	講師の方は、英語を教えるばかりではなくミュージシャンということもあり、ギターのリズムで歌を発表しました。皆さん恥ずかしがっていましたが、なかなかいい機会なので参加してよかったと思います。
小林会長	それでは（2）の令和2年度の活動方針と事業計画案について説明をお願いします。
佐藤事務長	8ページから16ページまで説明。

小林会長	まず僕から一つ質問ですが、昨年のソレイユ祭で1,000人から来られたそうですが、アオキさんの駐車場について何か問題はなかったですか。
佐藤事務長	特になかったです。私もずっと館内におりましたが、苦情だとか誰かが何か言われたとかという話はありませんでした。
小林会長	うまい具合に来場されたということでしょうか。
佐藤事務長	そうですね。例えばステージ発表も中学生が終わったら、次は幼児とか順番に回っていて、保護者や関係の方もうまい具合に入れ替わりがあったのかなと考えています。滞在型になるとちょっと厳しいかもしれません。
佐藤館長	一時的に止められた方もいらっしゃると思いますが、短い時間利用された方は何人かおられるのでしょうか。
相田委員	13ページから14ページにかけて備考欄ですが、単発受講で1回につき700円から1,500円という幅なのですが、受講料は月額にして2,000円の講座が多いかと思いますが、その差というのはなぜでしょうか。
佐藤事務長	今言われたように、月額です。1回分がイコールか月額を下回ると皆さんそちらのほうに回る可能性があることから割高ですが設定しています。そうすることで、ちょっと高めでも1回はやってみようかという気持ちになるかなと、例えば700円はテニスであったり、太極拳であったりその辺が700円かなと考えています。
小林会長	じゃあ1,500円はどちら辺を想定していますか。
佐藤事務長	書道や筆ペンです。月2,000円で1回あたり1,000円ですから1,000円に設定するとどちらでもいいじゃないということになります。
小林会長	1回分については1.5倍を想定しているわけですね。
佐藤事務長	おおむねそうですね。そんな設定でやってみようかと考えています。
相田委員	1回1,500円は微妙にちょっと高いですね。それと啓発活動のところでララネットというものがありますが、どんなものですか。
佐藤事務長	県の情報システムでネットを検索すると一覧になって出ます。
川上委員	商業高校や県央工業高校へのパンフレット配布ということですが、登録者の実績を見ると、20歳未満の方が41人いらっしゃいますが、昨年の春卒業したいいわゆる新卒者で就職してすぐ加入した方というのはけっこういらっしゃるのかどうか。
佐藤事務長	まず、20歳未満でも今は子どもさんでも中学生・高校生でも登録者に入っておりますので、必ずしも18歳、19歳とは限りません。
川上委員	なるほど。結構多いなと思いましたがそういうことなんですね。

	商工課さんのデータの中に昨年3月に高校を卒業して、地元の企業に就職している方がどれくらいいらっしゃるかわかるでしょうか。
商工課五十嵐主任	そこまでは把握できていないです。
佐藤事務長	パンフレットを見て来ていただければ最高ですが。サークルのスペシャルオリンピックスで活動している中にも中学生も混じっているのです、その人数も入っています。
川上委員	その子たちが大きくなってここを利用することは大いに考えられますね。
山田委員	啓発活動のフリーペーパーまるごと県央への記事提供というのは去年からやっているものですか。
佐藤事務長	はい、今年度から記事提供をしています。
山田委員	広報さんじょうもそうですが、まるごと県央も結構見ている人がいるので、いいかと思います。 それから相田委員もおっしゃっていられましたが、若者への周知ということで④の幼児・小学生・親子等に施設開放でスポーツ無料開放デーとか子ども映画館とか、そういうときにソレイユのPRもセットしていただいて、つなげていけばいいのかなと思いました。
小林会長	周知というとチラシ配布とかになりますか。
佐藤事務長	そうですね。スポーツ無料開放デーとか子ども映画館などは、嵐南小学校の全生徒に行き渡るようにチラシを配布しておりますので、反応は良く結構来てもらっています。
小林会長	それは大事な周知ですね。
佐藤事務長	はい。学校と連携を取っております。
泉委員	登録者数についてですが、それぞれ目標があって60歳以上だけ目標が減っています。何かあるのでしょうか。
佐藤事務長	それについては、一応あくまでも青少年をターゲットにしていますので、他の年代の目標数値2%にこだわらず、60歳以上の人口からすれば100人というのはたぶん0.0何%になると思います。ただ、100人くらいが目安かなと考えてあえて低く設定してあります。現在122人いるから150人にしようかとか考えていないところです。
小林会長	そうすると合計目標がもっと厳しくなってしまいますからね。
佐藤事務長	そうですね。それから講座にしてもサークルにしてもやはり青年たちが動かないと活発化しないです。例えばソレイユ祭であったり子どもたちを喜ばせる納涼祭であったりなど、イベントを運営していくうえで、青年たちが積極的に動くことによって運営が成り立っていくの

	<p>であって、お年寄りはそのようなイベントには一切関わらないというスタンスですので、活発化するためには青年層に重点を置いて目標を上を設定してございますので、その分60歳以上はこれくらいというのが本音でございます。</p>
山田委員	<p>実際40歳から60歳までになると昨年よりも100人増えていますね。去年の目標は200人だったですね。</p>
佐藤事務長	<p>そうですね。40歳代50歳代はまだまだ活発に動いてもらっている方もいらっしゃるので、目標は実数よりも増えています。</p>
中嶋委員	<p>登録者というのは、施設の近隣が多いのかそれとも市内全域から利用されているのか、もし統計があればお聞かせください。</p> <p>もう一つは、各講座の名称ですが、今回大幅に変更していますが、これはこの委員会の中での意見だったかどうか。なんとなく利用者が増えるかなと思ったものですから。</p>
佐藤事務長	<p>利用者については、もちろん近隣の方も多くいらっしゃいますが、市内全域に散らばっております。そのほか市外の方も利用されています。会社が三条でその帰りにという方もいらっしゃいます。ただ、その方たちが全体の何パーセントかという数字は把握してございません。</p> <p>それから講座の名称ですが、前回の審議会の中で清水委員の発言だったと思いますが、もう少し柔らかくしたほうがいいとの意見を踏まえて、内部で検討した結果、例えばピラティスを本気でやるんだというイメージで「ホンキでピラティス」というように、また、筆ペンのように実際習う内容が具体的にわかるようにしたものもあります。</p> <p>ちなみに清水委員は本日欠席ですが、コメントをいただいております。紹介しますと、「来年度の講座名を変更されて身近な雰囲気になった。バランスがいい。」という内容でした。</p>
小林会長	<p>はい、ありがとうございました。そのほか追加で何かありますか。</p> <p>全体通して利用者が上向きな雰囲気がつかめるので、引き続きというところでたぶん実績も上がってくるのかなと期待しています。</p> <p>では(3)のその他ですが、ないようですので事務局に戻します。</p>
佐藤事務長	<p>議題の中で説明しなかったのですが、1点本日お配りした資料で各勤労青少年ホームの比較というものがありますが、これについて触れておきます。前回のこの審議会の中で、ほかの勤労青少年ホームはこうだよという意見がございましたので、私のほうでインタビューしてまとめたものでございます。</p> <p>加茂市を例に挙げますと、時間及び休館日はご覧の通りで、登録費</p>

	<p>として保険料含めて年間 1,300 円払うとどの講座も受講できるということですが、ただし、下にあるように材料費がかかるものもあります。料理とかお花など 1 回につき 1,000 円から 3,000 円の範囲で材料費をいただくことになっています。</p>
小林会長	<p>英会話とかダンスとかは材料費がない。</p>
佐藤事務長	<p>それは無料です。先ほどの年会費のみです。ですから、そういうところだけ狙って入れれば年会費のみでいろんな講座を受講できます。</p>
委員一同	<p>(すごいなあ) (素晴らしい)</p>
小林会長	<p>まあ、小池市政権下の加茂ということですよ。</p>
佐藤事務長	<p>そこで、一番下の講師謝礼金ですが、三条の場合、月額 5,000 円から 8,000 円の範囲です。加茂市は 1 回 6,000 円プラス交通費ということで、これを三条の講座数に当てはめると、月 27 万円、プラス交通費含めて年間ざっと 370 万円ほどになります。そうしますと今現在私どもの持っている講師謝礼金が 90 万円ほどですので、4 倍以上になります。これを指定管理料の中から出そうとしても何を節約しても無理という話でありまして、加茂市の真似はできないと思っています。</p>
相田委員	<p>それは市の予算がついているということでしょうか。</p>
佐藤事務長	<p>そうです。小千谷市もそうですが年間数百万という金額が予算化されています。</p>
小林会長	<p>ズンバは結構人気のコースですが、なくなったのは講師の都合でしたか。</p>
佐藤事務長	<p>そうですね。ズンバはとても人気で、定員 20 人のところ 1 回の平均受講人数は 19 人以上ですので、ほとんど欠席がないという講座ですが、講師の方が 1 月に出産をされまして、その関係で後期からお休みされています。また、講師の方は自分の体調とか家庭の事情が許せばぜひやりたいとおっしゃっているので、その時は再び開講したいと考えています。</p>
小林会長	<p>では、そのほかなければ第 2 回の運営審議会を閉じたいと思います。ありがとうございました。</p>
	<p style="text-align: right;">閉会 午後 4 時 15 分</p>